

## 安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

**△注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

### △注意

- 1 湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

- 水温の低い（5℃）冬期に約7L/min（マッサージは9L/min）の吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。

②貯湯式給湯機と組合せる場合

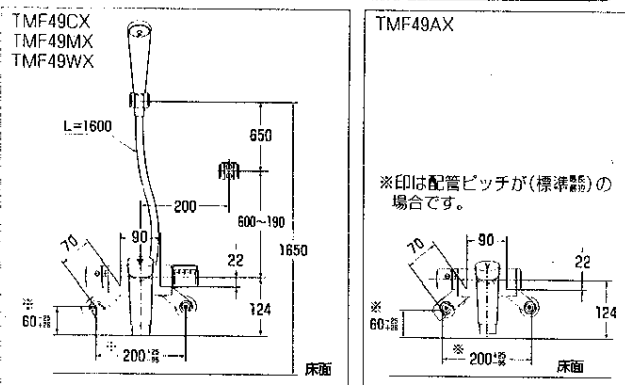
給水・給湯圧力 | 最低必要水圧…0.05MPa  
| 最高圧力…0.75MPa

※給水圧力が0.6MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。

但し、給湯圧力は給水圧力より高くならないよう設定してください。

2. 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。
  3. 給湯に蒸気を使用しないでください。
  4. 湯・水を逆配管しないでください。
- なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保温材を巻いてください。

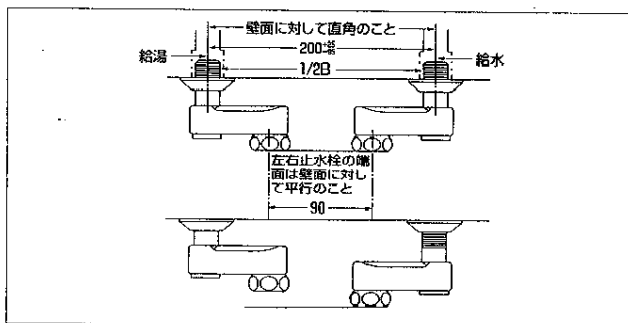
## 完成図



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

## 器具の取付け

1. 給水管内の掃除  
器具を取付ける前に必ず給水管内のゴミ、砂などを完全に洗い流してください。
2. 止水栓の取付け



## 使用条件

### 1. 使用水圧

1 瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力 | 最低必要水圧…(下表参照)  
| 最高圧力…0.75MPa

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧			
		普通シャワー	マッサージ	クリック	
比例制御タイプ	能力手動切替タイプ	12号	A+0.22	A+0.25	—
	TOTO カスタム制御方式	10号	0.12	—	0.15
		16号			
		20号			
	TOTO トリコン制御方式 (トリコン・コンタクト・アクティ)	16号	0.11	0.16	—
		20号			
		24号			
		アクティスルータイプ			
	TOTO ハイトリコン制御方式	32号	0.10	—	0.13
		21号			
	TOTO コマンド	24号	0.11	—	0.14
		16号			
24号					
21号					
TOTO ハイコマンド	16号	0.12	0.18	0.15	
	24号				
TOTO コマンド	21号	0.10	—	0.14	
	24号				

注1 表記のAは給湯機の最低作動水圧を示します。(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

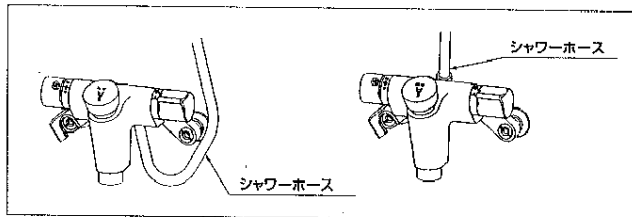
〈設定条件〉

- 止水栓及び開閉ハンドルは全開
- シャワー吐水温度：42℃
- 給湯配管長さ：5m
- a) 能力手動切替タイプの場合
  - 給湯機温度調節は最高温に設定
  - 水温の高い（25℃）夏期に着火させることを想定
  - ※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。
- b) 比例制御タイプの場合
  - 給湯温度は60℃に設定

### 3. シャワーホースの取付け (シャワー金具の場合)

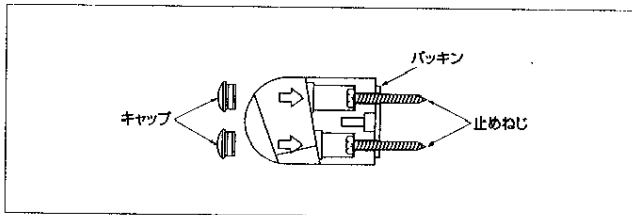
本体を止水栓に接続する前にシャワーホースを本体に取付けてください。シャワーホースは止水栓の下から取り出してください。

※シャワーエルボはねじ込みタイプのため締付けた時点より、下から取り出せる位置までもどしてからシャワーホースを取付けてください。



### 4. シャワーハンガー取付要領

キャップ (シャワーヘッド回転防止ゴム) は、ねじ穴に確実に押込んでください。



# サーモスタートシャワー金具・混合栓（自閉式）施工説明書

この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## 温度調節

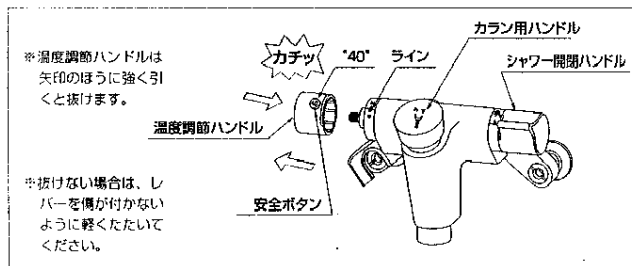
工場で温度調節をしていますが取付現場の圧力状況などによって、目盛どりの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。

調節する前に次のことを確かめてください。

- 止水栓は全開になっているか。
- ストレーナーのごみづまりはないか。
- 十分な温度（使用する温度より10℃以上）の湯がきているか。

調節要領

- 1 カランより吐水させて温度調節ハンドルの目盛に関係なく40℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回してください。（高温側へ回すときは安全ボタンを押してください。但し、安全のため、45℃以上の湯水は出ないようにしています。）
- 2 温度調節ハンドルが回らないように注意して温度調節ハンドルを抜き取ってください。
- 3 目盛の“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押込んでください。



## ストレーナの掃除

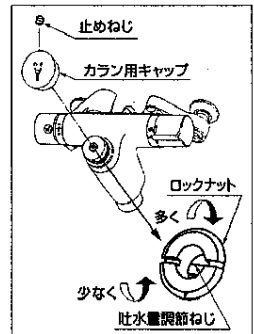
ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり水又は熱湯しか出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導願います。

## 吐水量の調節

吐水量調節機能を備えていますので、お好みの吐水量に調節することができます。次の要領で吐水量を調節してください。

なお、工場出荷時は一回の操作で洗面器一杯分（約3L）程度吐水するように調節しています。

- (1) 止めねじを緩めてカラン用キャップを引抜き取外す。
- (2) ドライバーでロックナットを緩める。
- (3) ロックナットの穴よりドライバーを差込み、吐水量調節ねじを回転させて調節する。  
（一回転で約2Lの調節ができます。）  
右回転……吐水量が多くなる。  
左回転……吐水量が少くなる。
- (4) ハンドルを一度押して吐水量を確認する。
- (5) お好みの量に調節が終わったらロックナットを確実に締めた後、カラン用キャップをマークが正面を向くようにはめ込み、止めねじが緩まないよう十分に締める。



## お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかな布でふき、ときどきシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失いますので付着しないよう十分注意すること。
2. 汚れがひどいときには、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布でふき取った後、水洗いすること。
3. クレンザーやみがき粉など、粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
4. 酸性洗剤はめっきを傷ため使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

## 分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

7. 調節は適当か

3. シートにごみかみはないか

4. 温度調節はよいか

6. クリーニングピンの曲りはないか

5. 水側・湯側シート部にごみづまりはないか

3. シートにごみかみはないか

8. ごみづまりはないか

現象	点検項目
流量が少ない	1・2
水が止まらない	3
高温しか出ない	1・2・4・5
低温しか出ない	1・2・4・5
目盛どりの湯が出ない	1・2・4・5
吐水量が多い	6・7
吐水量が少ない	1・7
カランの吐水が乱れる	8

※シャワー開閉ハンドルを取付けるときは、ラインにハンドルのレバーを合わせて“カチッ”と音がするまで押込んでください。

※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。